

60才以上の外食、伸び率は59才以下の3倍、 2025年の金額市場規模9.3%増

<外食・中食調査レポート>

2026年4月22日

サカーナ・ジャパン株式会社

(エヌピーディー・ジャパン株式会社より社名変更)

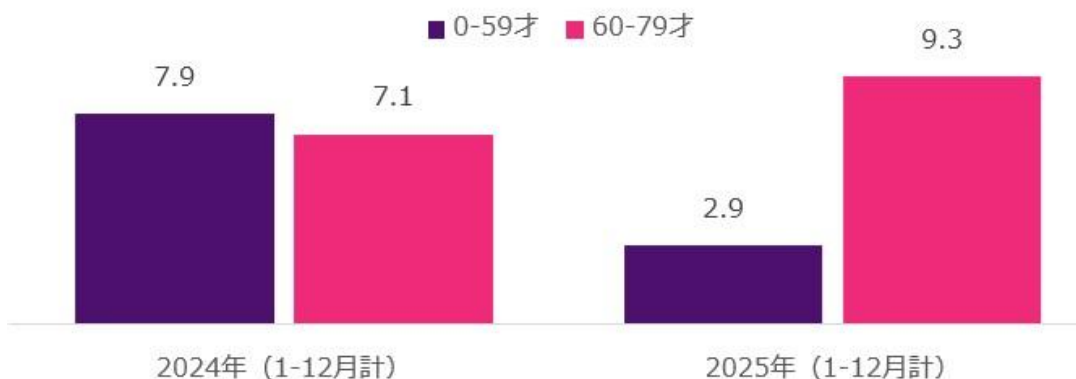
外食・中食市場情報サービス『CREST®^{*1}』を提供するサカーナ・ジャパン株式会社（エヌピーディー・ジャパン株式会社より社名変更、東京都港区、ケビン・ソー代表）は、外食・中食市場レポートを2026年4月22日に公表します。

本分析レポートでは、大きく以下のことが分かります。2025年1-12月計の外食における60才以上の金額市場規模の前年比は9.3%増となり、59才以下の2.9%増を大幅に上回りました。

2025年60才以上の金額市場規模の前年比は9.3%増、59才以下の3倍

外食（購入した店舗内での喫食）における60-79才の金額市場規模は、2024年（1-12月計）は、前年比で7.1%増、2025年（1-12月計）は同9.3%増となりました。一方、0-59才では、2024年は同7.9%増と60-79才をやや上回る成長を示したものの、2025年は同2.9%増にとどまりました。2025年は、60-79才が0-59才と比べて3倍以上の伸び率となっていることが分かります。

<図表1> 年齢別 外食*の金額市場規模（円） 前年比%



※外食=利用業態は問わず、購入店舗内で喫食した食事や間食、飲料などを含む。

出典: Circana, CREST®, 2023年1月-2025年12月計

サカーナ・ジャパン フードサービスシニアマネージャーである、矢部 忠継（やべ ただつぐ）は、次のように話します。「長引く物価高に賃金上昇が追い付かない環境下、エンゲル係数は高止まりし、飲食料品に対する節約志向は強まっています。

その一方で、『消費の二極化』や『メリハリ消費』が最近のキーワードとなっています。『日常（ケ）』である中食を節約するご褒美として、『非日常（ハレ）』を外食で楽しむ消費動向が見てとれます。厳しい経済状況下にも関わらず、外食が好調な要因を年齢別に分析してみたところ、60才を境目に顕著な年齢差が2025年に現れました。その要因を考察すると、シニア層への『資産効果』が影響していると考えられます。2025年10月に日経平均株価は史上初めて5万円を超えました。株式の保有比率は60代以上が一番高いというデータがあり、株高による消費意欲への刺激が、シニア層にはより働いたと思われれます。3世代で外食する際、祖父・祖母がお金を払うケースがよく見られます。シニアの財布の紐を効果的に緩めさせる施策は、幅広い世代の顧客獲得にもつながります。」

*1 **CREST®**

外食・中食市場において「いつ、誰が、どこで、何を、どのように食べ、どの程度満足したか」など消費者のあらゆる喫食動態データを1年365日、消費者から収集し、年間13万を超えるサンプル数を元に分析できる情報サービスです。外食市場規模、中食市場規模、客数を業態、セグメント別に把握可能です。世界13か国で実施。

詳細 URL: <http://www.npdjapan.com/service/food.html>

■本件に関するお問い合わせ先

サカーナ・ジャパン株式会社

担当：東（あずま）さやか

〒108-0023 東京都港区芝浦 3-6-5 Biz Feel 田町 2F

TEL : 03-5798-7663

Email : circanajapan.info@circana.com

■会社概要

会社名 サカーナ・ジャパン株式会社（エヌピーディー・ジャパン株式会社より社名変更）

英名 Circana Japan Ltd.

設立年月日 2003年 3月 31日

所在地 〒108-0023 東京都港区芝浦3-6-5 Biz Feel 田町 2F

TEL (03) 5798 - 7663

資本金 80,000,000円

所属団体 一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会

代表者 ケビン・ソー